

1

次の（ ）にあてはまる言葉を書きましょう。

- ① 4の倍数にも、7の倍数にもなっている数を、4と7の（ ）といい、そのうち、いちばん小さい数を（ ）といいます。
- ② 12の約数にも、6の約数にもなっている数を、12と6の（ ）といい、そのうち、いちばん大きい数を（ ）といいます。
- ③ 2，3，5，7，11のように、1とその数自身のほかに約数がない数を（ ）といいます。
- ④ 公倍数は、（ ）の倍数になっています。
また、公約数は（ ）の約数になっています。
- ⑤ 2でわりきれる整数を（ ）、2でわりきれない数を（ ）と
います。0は（ ）です。

2

3，4，5，6のカードを1まいずつならべて4けたの整数をつくります。

- ① いちばん大きい偶数をかきましょう。

()
- ② いちばん小さい奇数をかきましょう。

()

[解答・解説]

1

- ① 公倍数・最小公倍数
- ② 公約数・最大公約数
- ③ 素数
- ④ 最小公倍数・最大公約数
- ⑤ 偶数・奇数・偶数

2

- ① カードを4まいならべて4けたの整数をつくと、大きい順に
6 5 4 3 6 5 3 4 6 4 5 3……
となる。
したがって、いちばん大きい偶数は6 5 3 4である。
- ② カードを4まいならべて4けたの整数をつくと、小さい順に
3 4 5 6 3 4 6 5 3 5 4 6……
となる。
したがって、いちばん小さい奇数は3 4 6 5である。

6 5 3 4

3 4 6 5